

1. 対象事業	蕨市南部第14処理分区合流式下水道緊急改善計画																					
2. 実施主体名称	埼玉県蕨市																					
3. 計画期間	平成22年度～平成25年度																					
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について、当初計画通りに実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 汚濁負荷量の削減(汚濁負荷量を分流式下水道並みにする) <ul style="list-style-type: none"> ・本事業着手時点で達成済み(年間放流BOD汚濁負荷量 分流並み以下達成済み) ② 公衆衛生上の安全確保(雨天時の未処理放流回数を半減) <ul style="list-style-type: none"> ・以下の対策を平成25年度までに実施 <ul style="list-style-type: none"> ア. 流域下水道(処理場)への遮集量増大(3Q:138, 330m³/日→3.5Q:161, 310m³/日) イ. 南町ポンプ場に高速ろ過施設を設置(処理能力30, 240m³/日、平成26年3月より供用を開始) ③ きょう雑物の削減(きょう雑物の流出を極力防止) <ul style="list-style-type: none"> ・本事業着手時点で対策済み(スクリーン設置済み) 																					
5. 目標達成状況と達成の見通し	<p>【改善目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ② 公衆衛生上の安全確保(雨天時の未処理放流回数の半減) <ul style="list-style-type: none"> 毎年の降雨状況は、計画時に想定した平均的な対象降雨とは異なるため、効果の確認方法として未処理放流割合で検証する。(未処理放流割合＝未処理放流回数／対象降雨回数) <p>【目標に対する達成状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">改善項目</th> <th style="width: 15%;">評価指標</th> <th style="width: 15%;">対策前(H9)</th> <th style="width: 15%;">改善目標</th> <th style="width: 15%;">事後評価(H26.3～H28.11末現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">公衆衛生上の安全確保</td> <td>対象降雨回数</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">62回</td> <td style="text-align: center;">177回</td> </tr> <tr> <td>未処理放流回数</td> <td style="text-align: center;">62回</td> <td style="text-align: center;">31回</td> <td style="text-align: center;">80回</td> </tr> <tr> <td>未処理放流割合</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">50%</td> <td style="text-align: center;">45% (目標達成)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1). 対策前の未処理放流回数(半減対象降雨)62回は、平成9年度(対象降雨年度)に未処理放流した降雨のうち、BODが15mg/Lを超える降雨を集計。 ※2). ※1)の集計結果から、事後評価における対象降雨の定義を、以下aとbの条件を満たした降雨(177回)とした。 a. 3Q以上の降雨 b. 「総雨量 6～35mm」かつ「1時間最大雨量 2～20mm」 ※3). 事後評価の未処理放流回数80回については、高速ろ過施設の処理能力を超え、雨水ポンプ施設が稼働した降雨回数を集計した。 ※4). ①汚濁負荷量の削減、③きょう雑物の削減については、本事業着手時点で対策済みである。</p>				改善項目	評価指標	対策前(H9)	改善目標	事後評価(H26.3～H28.11末現在)	公衆衛生上の安全確保	対象降雨回数	62回		177回	未処理放流回数	62回	31回	80回	未処理放流割合	100%	50%	45% (目標達成)
改善項目	評価指標	対策前(H9)	改善目標	事後評価(H26.3～H28.11末現在)																		
公衆衛生上の安全確保	対象降雨回数	62回		177回																		
	未処理放流回数	62回	31回	80回																		
	未処理放流割合	100%	50%	45% (目標達成)																		
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<p>高速ろ過施設の導入により、改善目標とした対象降雨規模相当の降雨に対する雨天時未処理放流回数(未処理放流割合)は、整備完了後の平成26年3月から平成28年11月にかけての33ヶ月間で、半減を図れていることから、期待していた効果は発現されているといえる。</p> <p>また、本事業の整備により、既に達成済みである①汚濁負荷量の削減についても、更なる汚濁負荷量の削減効果が図れていると同時に、③きょう雑物の削減についても、ポンプ場の既設スクリーン(目幅25mm)で捕捉できないようなきょう雑物の除去も図れている。</p>																					
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>目標達成のための対策として、従前計画では貯留施設による方法を選択していたが、計画を見直し、「SPIRIT21合流式下水道改善技術」に示される雨天時高速ろ過システムを採用して事業を進めてきた。また、既存ポンプ場敷地内に施設を設置できたことにより、施設の運用・維持管理面においてもメリットがあり、その結果、経済性・工事期間などにおいて、より効率的な対策事業となった。</p>																					
8. 今後の方針	<p>本事業の完了により、現状で改善目標は達成された状況にある。今後は、整備した施設の適正な維持管理を行うとともに、引き続き合流区域における発生源対策(管渠清掃、路面清掃、油脂類の流出管理など)や雨水流出抑制対策、下水道施設の老朽化対策、浸水対策等を進めながら、放流先の緑川の水質保全に寄与するため、必要に応じたさらなる合流式下水道の改善に努めていきたい。</p>																					